

◆日時：6月13日午前10時30分～午後0時30分

◆場所：市庁舎議会棟6階

◆議題：請願・陳情の審査

請願1（第72号） JR 東海による中央（リニア）新幹線計画に関する請願

提出者：三井百合ヶ丘第三地区自治会リニア新幹線問題委員会

請願2（第73号） リニア新幹線建設に関する請願

提出者：麻生区王禅寺西の住民5人

陳情（第148号） リニア中央新幹線の環境影響評価に関する陳情

提出者：リニア新幹線を考える中原・高津の会ほか2団体

3件とも前回（5月23日）の委員会で継続審議になっていたもの。

◆委員出席者：11人（1人欠席）

◆傍聴：16人（請願者5人、陳情者10人、他1人）

◆議事：

1. 前回の委員会で取り上げられた条例違反問題の件

前回、猪股委員が「市長意見に対する JR 東海の評価書の提出を求めないのは市の環境影響評価条例に違反している」と指摘し、市側が答えられず持ち越しになっていた件。

本日、市側は「条例は評価書の提出期限を定めていないので、市が提出を求めないからといって違反ではない」と回答した。これに対して、猪股委員が「今のままでは市民の意見がどう反映されているのか確認できない」「条例評価書が出た段階ではもう変更できないのではないか」と追及したが、市側は「手続きにとらわれず、事業者に要望・確認してゆく」というだけで前向きな回答はしなかった。

2. ヨネッティー王禅寺前の立坑周辺走行ルート of 件

これも前回の委員会からの継続テーマ。残土を運搬するトラックが尻手黒川線から迂回せずに、直接立坑工事現場に右折で入る経路について、市側は現場一帯の航空写真を提出し、JR 東海と道路管理者の間で検討され案を説明した。市によるとこの案は JR 東海の評価書に反映される見込みという。

3. その他

共産党の佐野委員から、JR 東海が、市の環境影響審議会に対し、十分な検討材料を出さずに済ませたことに代表される、今回のアセス手続きの異常性についての言及があった。このような事例を作ると今後に禍根を残す、市の環境アセスへの姿勢が問われるとの指摘だったが、市側からは反省めいた言葉は聞かれなかった。

4. 請願・陳情の扱い

結果は以下の通り。

1) 請願第72号＝全会一致で趣旨採択

2) 請願第73号＝全会一致で趣旨採択

3) 陳情第148号＝3対7で不採択

3は共産党1、無所属2（猪股委員、粕谷委員）

7は自民3、公明2、民主2